

令和元年6月21日

平成31年4月期観測資料

1 観測結果概要

平成31年4月期(以下「今期」という。)に、インターネットとの接続点に設置したセンサーにおいて検知したアクセス件数は、一日・1IPアドレス当たり3,428.0件で、平成31年3月期(以下「前期」という。)と比較して300.3件(9.6%)増加しました。また、着信元(送信元)IPアドレス数は、一日当たり43,537.6個で、前期と比較して3,962.0個(8.3%)減少しました。

不正侵入等の行為(以下「不正侵入等」という。)のシグネチャを用いた検知件数は、一日・1IPアドレス当たり1,147.0件で、前期と比較して312.9件(37.5%)増加しました。また、着信元(送信元)IPアドレス数は、一日当たり8,466.4個で、前期と比較して338.8個(3.8%)減少しました。

DoS攻撃被害検知件数は、一日当たり15,130.4件で、前期と比較して6,280.5件(71.0%)増加しました。また、着信元(送信元)IPアドレス数は、一日当たり340.4個で、前期と比較して7.8個(2.2%)減少しました。

2 センサーにおけるアクセス検知の観測結果

2-1 宛先ポート別アクセス検知件数

表 2-1 宛先ポート別検知件数(今期順位)

今期 順位	前期 順位	ポート	今期件数 ⁱ	前期比 ⁱ
1位	1位	23/TCP	514.30 件	+3.8% (+18.70 件)
2位	2位	445/TCP	407.99 件	-5.7% (-24.49 件)
3位	3位	52869/TCP	87.92 件	-25.4% (-29.93 件)
4位	4位	22/TCP	70.20 件	-10.3% (-8.09 件)
5位	5位	80/TCP	52.27 件	+1.9% (+0.98 件)

表 2-2 宛先ポート別検知件数(増加順位)

増加 順位	ポート	今期件数 ⁱ	前期比 ⁱ	今期 順位	前期 順位
1位	37215/TCP	31.09 件	+311.1% (+23.52 件)	11位	35位
2位	9001/TCP	22.22 件	- ⁱⁱ (+20.67 件)	14位	- ⁱⁱ
3位	23/TCP	514.30 件	+3.8% (+18.70 件)	1位	1位
4位	53/UDP	15.27 件	+87.1% (+7.11 件)	23位	30位
5位	53413/UDP	41.70 件	+18.5% (+6.52 件)	7位	9位

表 2-3 宛先ポート別検知件数(減少順位)

減少 順位	ポート	今期件数 ⁱ	前期比 ⁱ	今期 順位	前期 順位
1位	52869/TCP	87.92 件	-25.4% (-29.93 件)	3位	3位
2位	445/TCP	407.99 件	-5.7% (-24.49 件)	2位	2位
3位	9527/TCP	1.35 件	-91.5% (-14.61 件)	- ⁱⁱⁱ	20位
4位	2323/TCP	21.74 件	-31.9% (-10.20 件)	16位	12位
5位	5555/TCP	24.03 件	-27.0% (-8.91 件)	13位	10位

ⁱ 一日・1IP アドレス当たり。

ⁱⁱ 前期のアクセス件数が僅かなため、前期比及び前期順位は記載していません。

ⁱⁱⁱ 今期のアクセス件数が僅かなため、今期順位は記載していません。

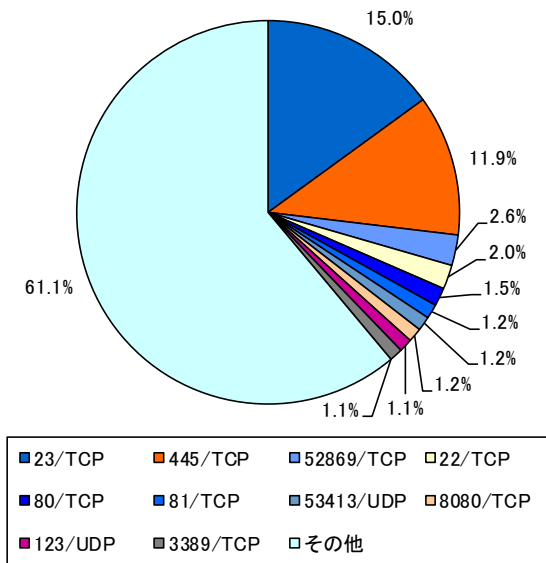


図 2-1 宛先ポート別比率(全て)ⁱ

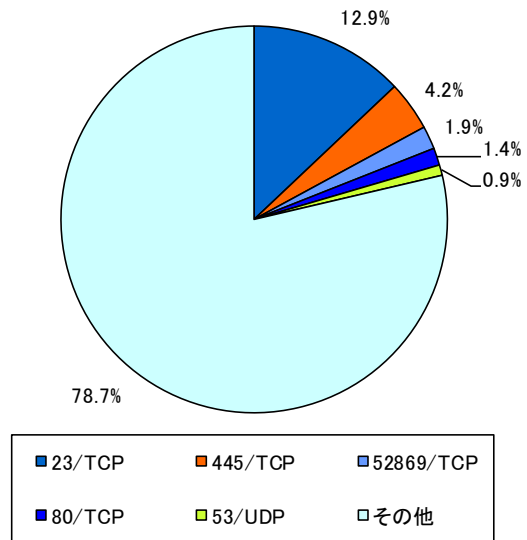


図 2-2 宛先ポート別比率(日本国内)

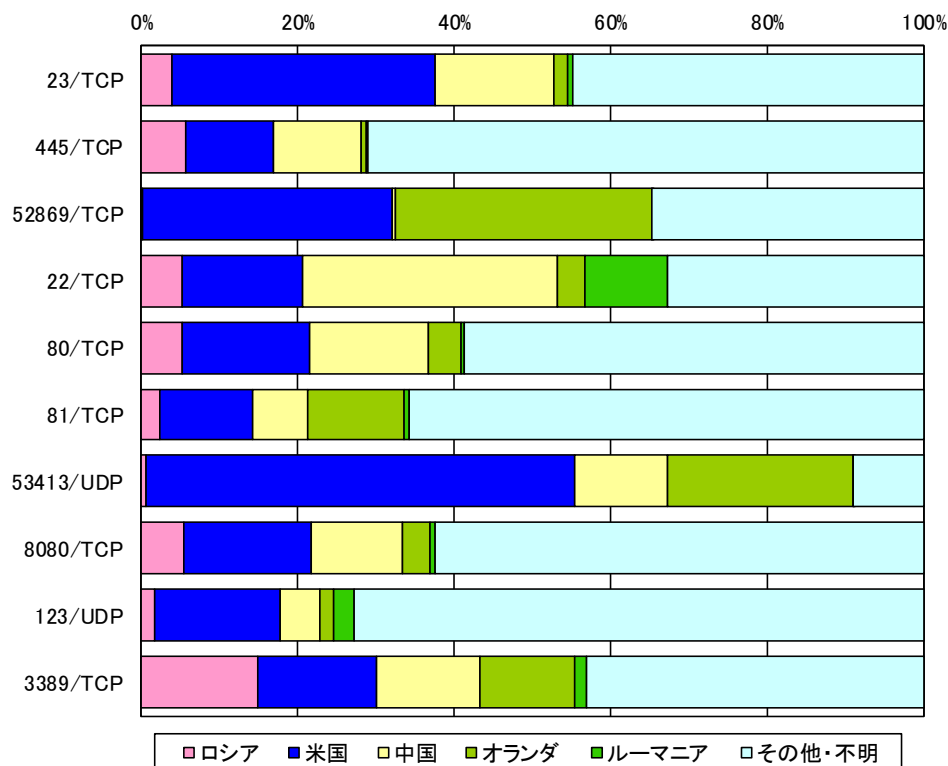


図 2-3 宛先ポート別上位の着信元国・地域別比率ⁱⁱ

ⁱ 当データは、小数第二位で四捨五入しているため、合計が 100%にならないことがあります。以降の円グラフも同様です。

ⁱⁱ 着信元国・地域については、判明した着信元(送信元)IP アドレスが当該国・地域に割り当てられていることを指しており、踏み台となっているなどにより、送信者の所在と一致していない場合があります。以降も同様の表記です。

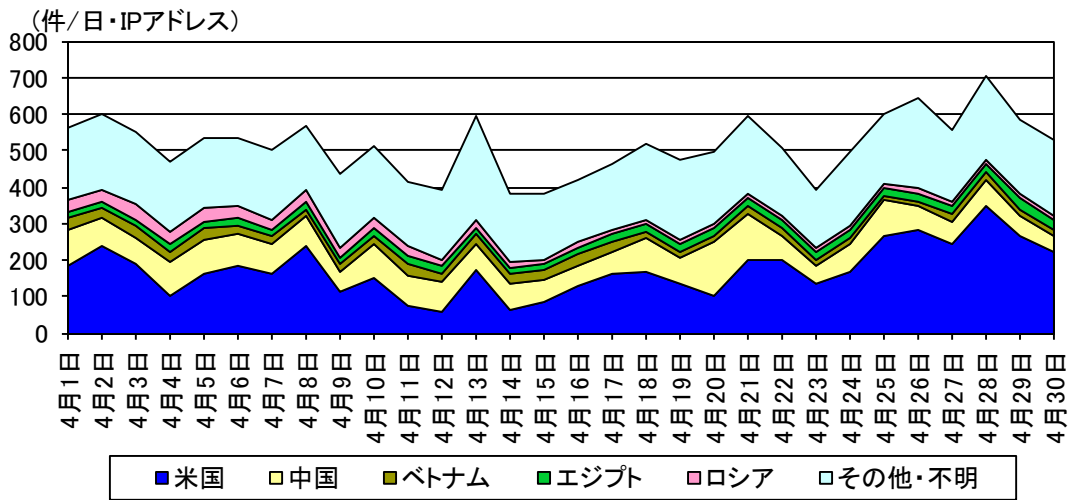


図 2-4 センサーのポート 23/TCP における検知件数の推移

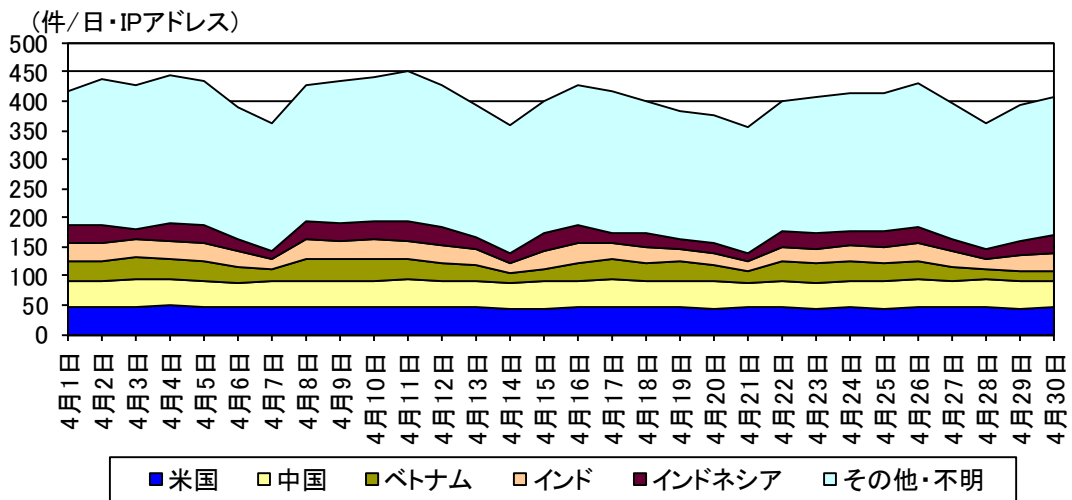


図 2-5 センサーのポート 445/TCP における検知件数の推移

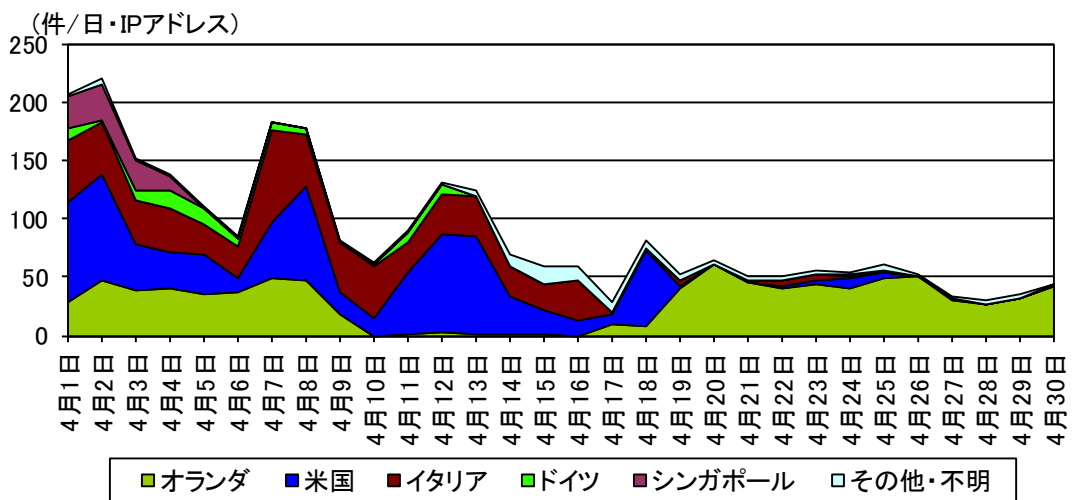


図 2-6 センサーのポート 52869/TCP における検知件数の推移

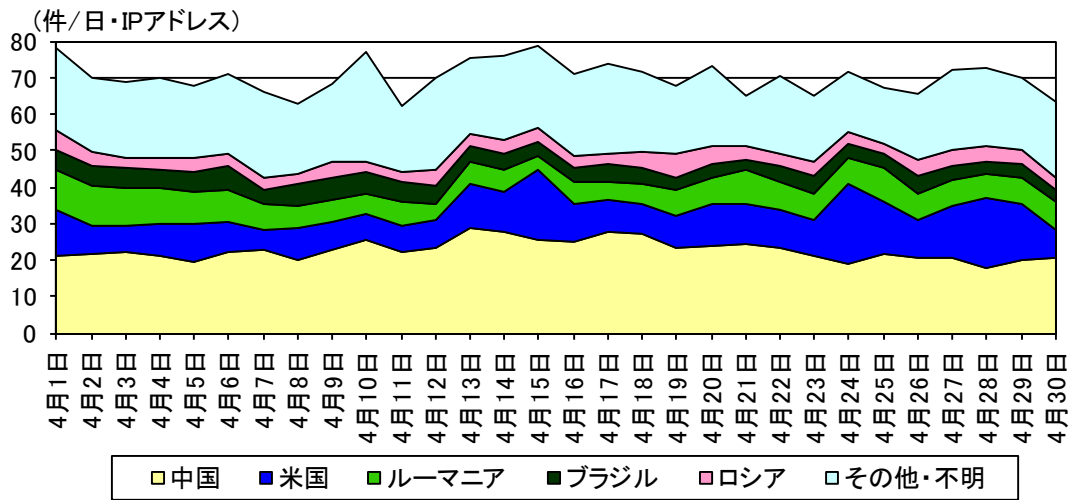


図 2-7 センサーのポート 22/TCP における検知件数の推移

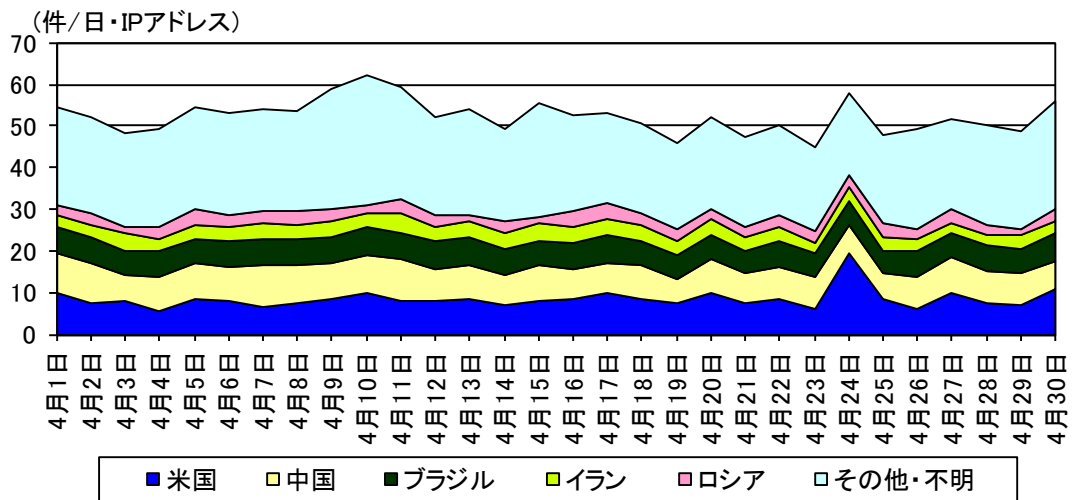


図 2-8 センサーのポート 80/TCP における検知件数の推移

2-2 着信元国・地域別アクセス検知件数

表 2-4 着信元国・地域別検知件数(今期順位)

今期 順位	前期 順位	国・地域	今期件数 ⁱ	前期比 ⁱ
1位	1位	ロシア	877.15 件	+40.9% (+254.57 件)
2位	2位	米国	623.92 件	+15.9% (+85.46 件)
3位	3位	中国	368.51 件	-2.7% (-10.33 件)
4位	4位	オランダ	273.68 件	+36.4% (+72.97 件)
5位	5位	ルーマニア	99.69 件	-21.2% (-26.80 件)

表 2-5 着信元国・地域別検知件数(増加順位)

増加 順位	国・地域	今期件数 ⁱ	前期比 ⁱ	今期 順位	前期 順位
1位	ロシア	877.15 件	+40.9% (+254.57 件)	1位	1位
2位	米国	623.92 件	+15.9% (+85.46 件)	2位	2位
3位	オランダ	273.68 件	+36.4% (+72.97 件)	4位	4位
4位	台湾	57.70 件	+48.1% (+18.73 件)	12位	16位
5位	エストニア	76.97 件	+26.6% (+16.17 件)	7位	11位

表 2-6 着信元国・地域別検知件数(減少順位)

減少 順位	国・地域	今期件数 ⁱ	前期比 ⁱ	今期 順位	前期 順位
1位	イタリア	56.83 件	-40.8% (-39.13 件)	13位	6位
2位	ルーマニア	99.69 件	-21.2% (-26.80 件)	5位	5位
3位	英国	37.93 件	-36.4% (-21.73 件)	18位	12位
4位	ウクライナ	12.60 件	-57.0% (-16.67 件)	31位	20位
5位	インドネシア	81.24 件	-13.6% (-12.80 件)	6位	7位

ⁱ 一日・1IP アドレス当たり。

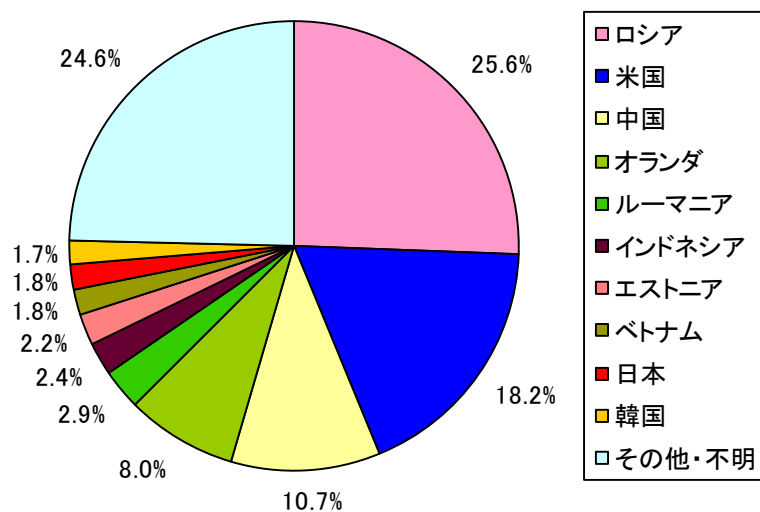


図 2-9 着信元国・地域別比率

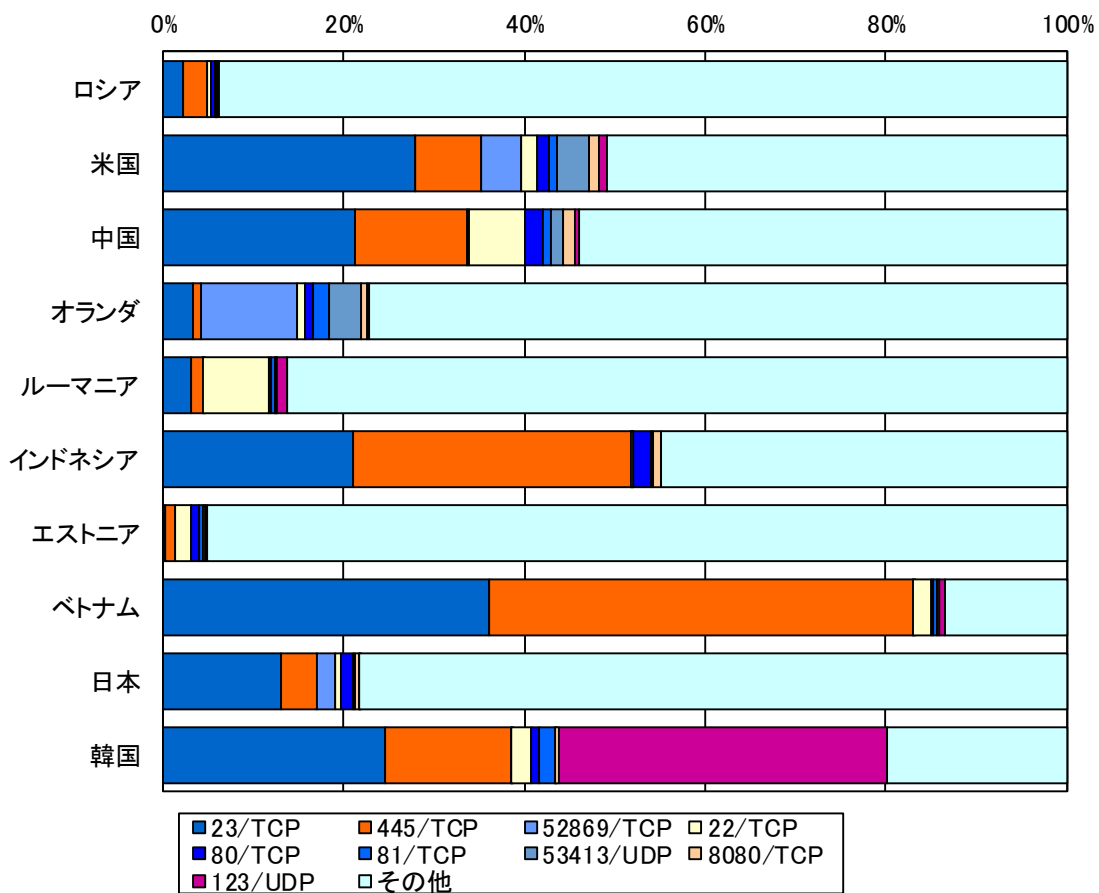


図 2-10 着信元国・地域別上位の宛先ポート別比率

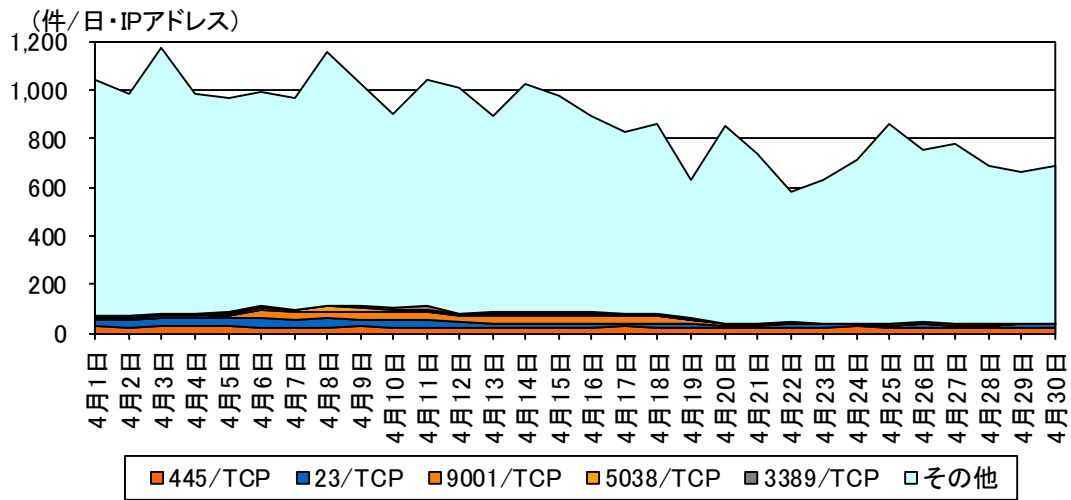


図 2-11 ロシアからの検知件数の推移

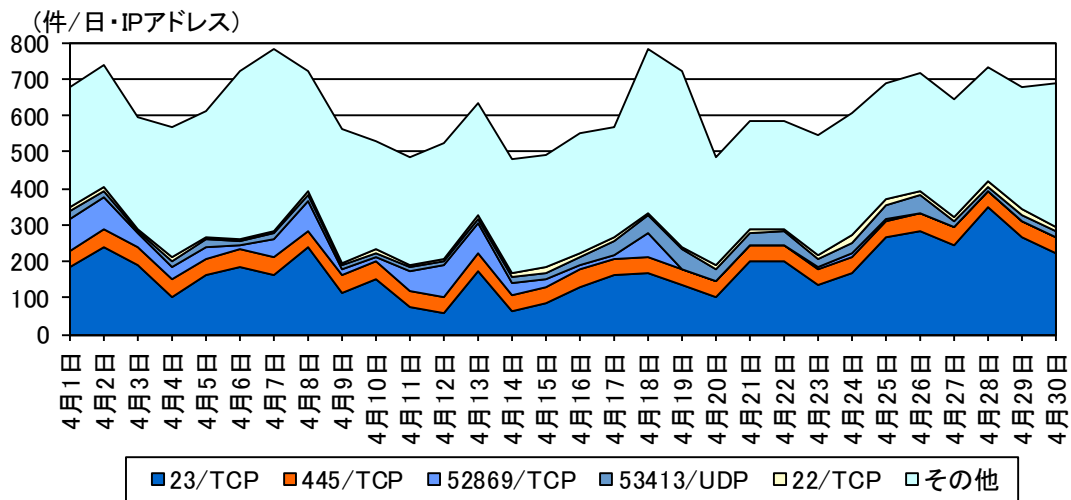


図 2-12 米国からの検知件数の推移

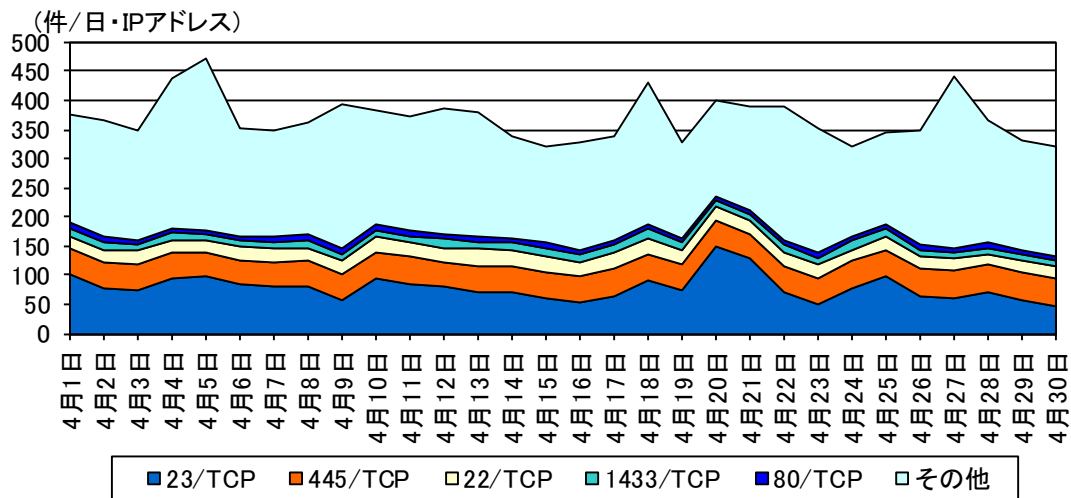


図 2-13 中国からの検知件数の推移

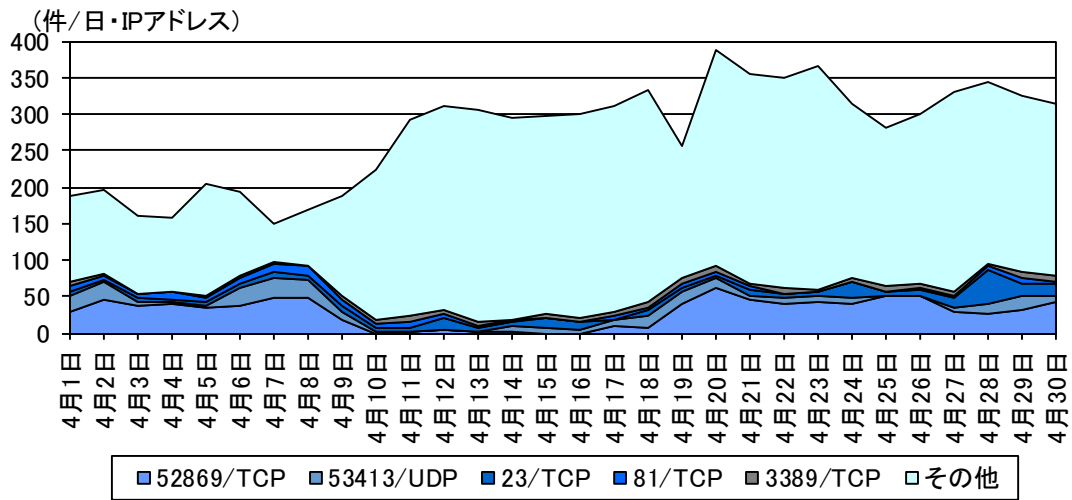


図 2-14 オランダからの検知件数の推移

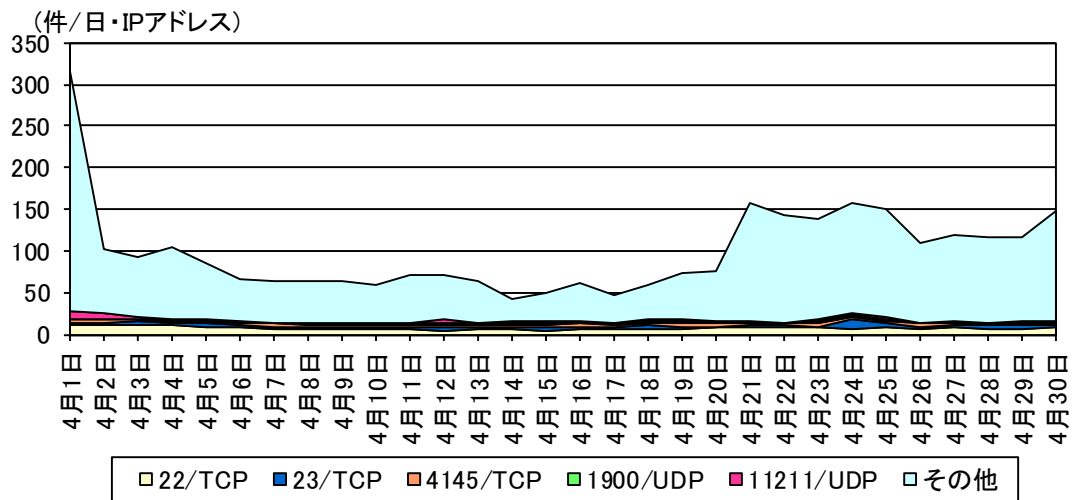


図 2-15 ルーマニアからの検知件数の推移

3 不正侵入等の観測結果

3-1 攻撃手法別アクセス検知件数

表 3-1 不正侵入等の攻撃手法別検知件数

今期 順位	前期 順位	攻撃手法	今期件数 ⁱ	前期比 ⁱ	増加 順位	減少 順位
1位	1位	INDICATOR-SCAN	465.99 件	+8.4% (+36.09 件)	3位	
2位	3位	Microsoft Windows Terminal server	289.53 件	+142.9% (+170.34 件)	1位	
3位	2位	SMBv1	157.34 件	-7.7% (-13.13 件)		1位
4位	7位	Remote Desktop	107.06 件	- ⁱⁱ (+97.92 件)	2位	
5位	4位	VOIP	30.05 件	+28.7% (+6.70 件)	5位	

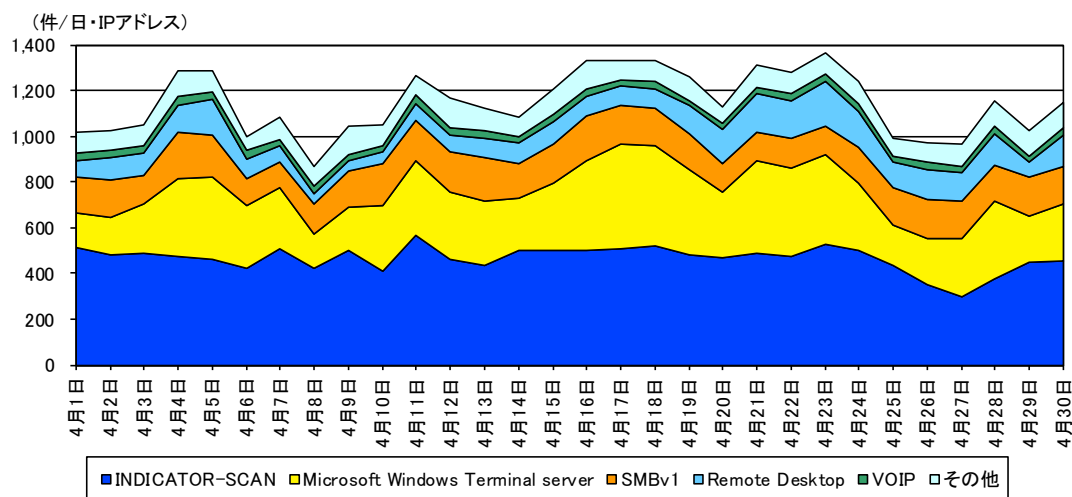


図 3-1 不正侵入等の攻撃手法別検知件数の推移

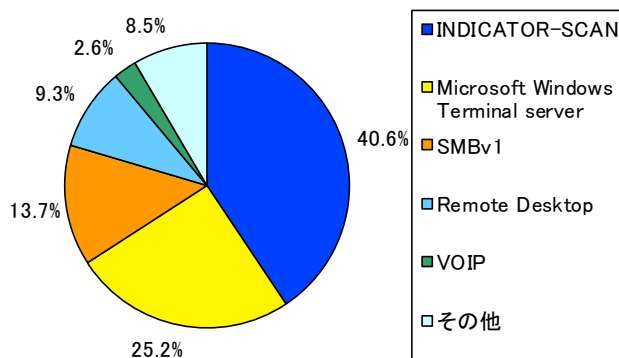


図 3-2 不正侵入等の攻撃手法別検知比率

ⁱ 一日・1IP アドレス当たり。

ⁱⁱ 前期のアクセス件数が僅かなため、前期比は記載していません。

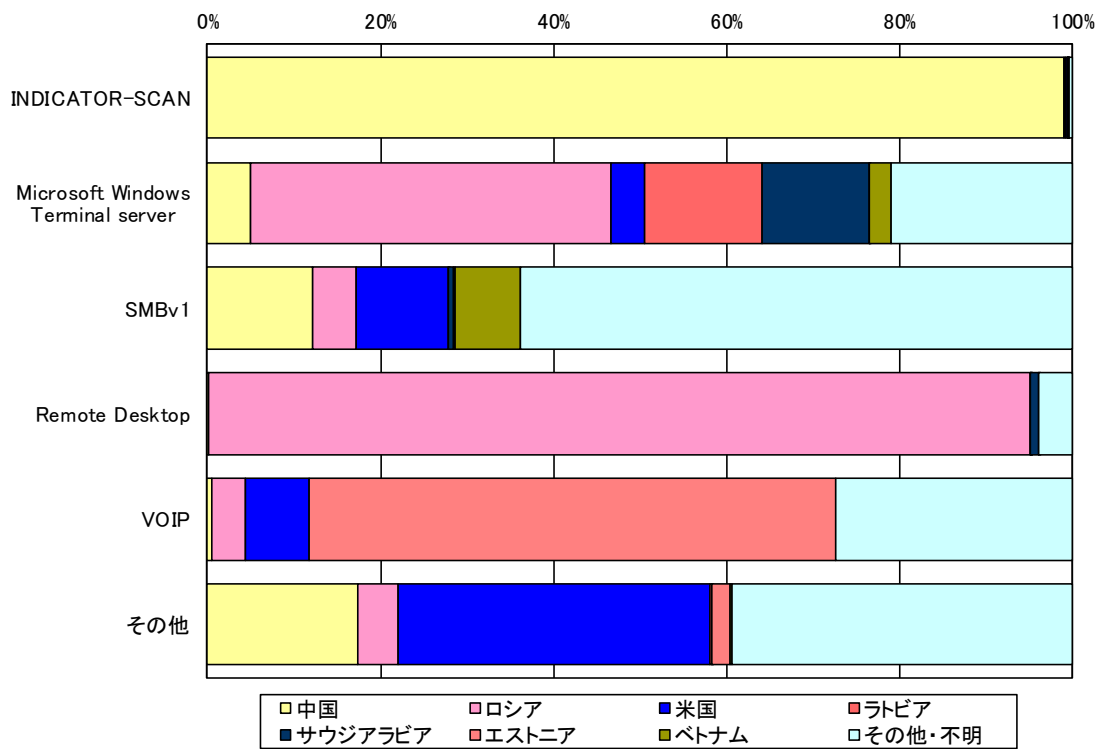


図 3-3 不正侵入等の攻撃手法の国・地域別検知比率

3-2 着信元国・地域別アクセス検知件数

表 3-2 不正侵入等の着信元国・地域別検知件数(今期順位)

今期 順位	前期 順位	国・地域	今期件数 ⁱ	前期比 ⁱ
1位	1位	中国	512.56件	+5.5% (+26.64件)
2位	3位	ロシア	236.09件	+669.8% (+205.42件)
3位	2位	米国	66.45件	+1.5% (+0.98件)
4位	4位	ラトビア	40.01件	+32.8% (+9.88件)
5位	— ⁱⁱ	サウジアラビア	37.93件	— ⁱⁱ (+36.92件)

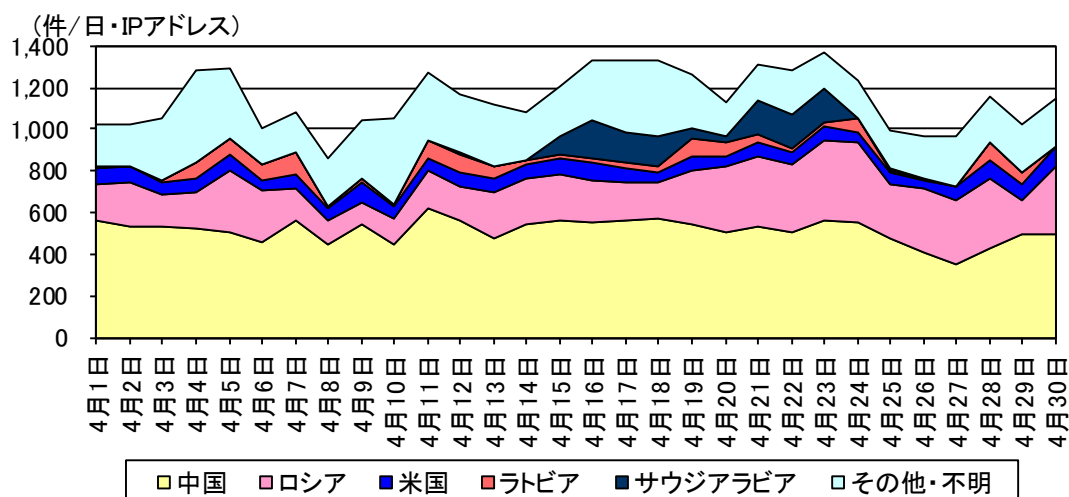


図 3-4 不正侵入等の着信元国・地域別検知件数の推移

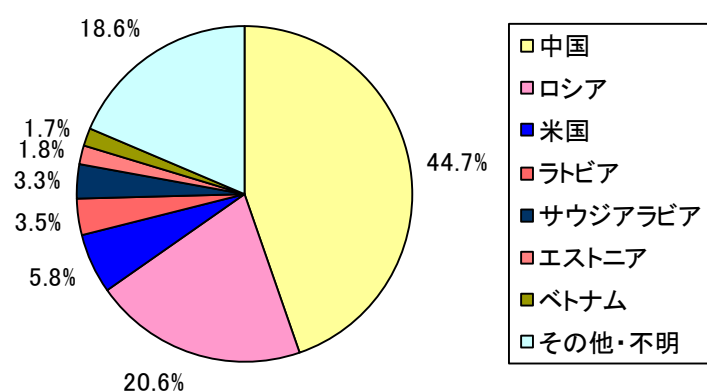


図 3-5 不正侵入等の着信元国・地域別検知比率

ⁱ 一日・1IPアドレス当たり。

ⁱⁱ 前期のアクセス件数が僅かなため、前期比及び前期順位は記載していません。

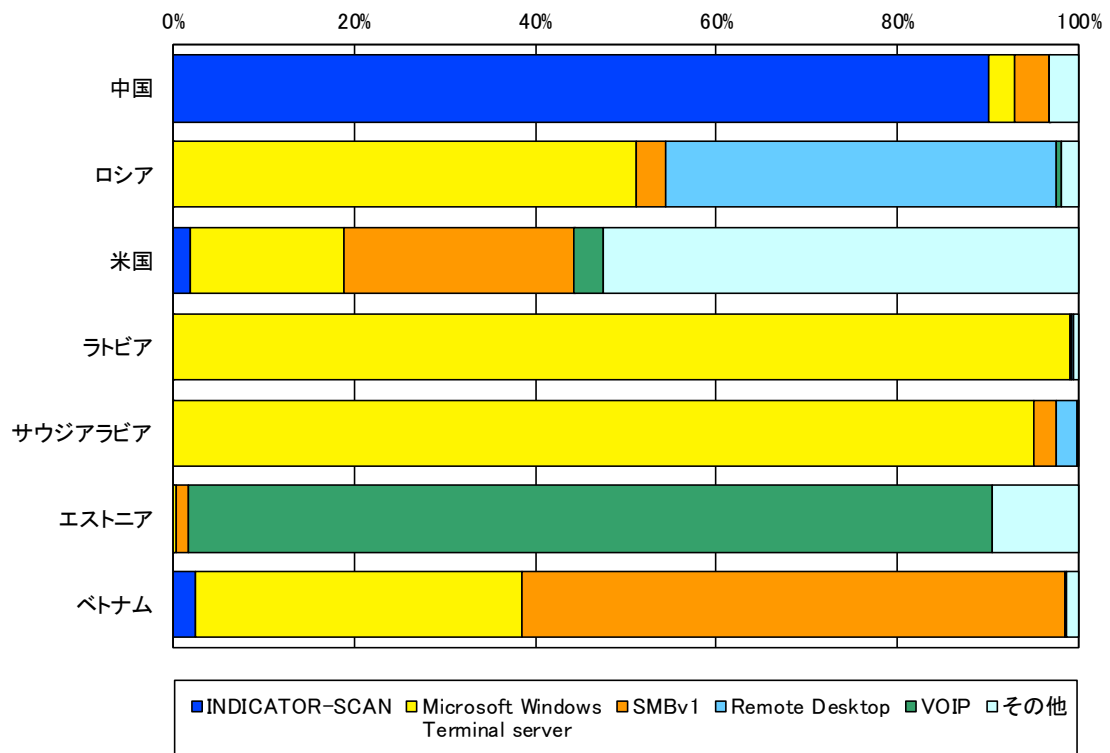


図 3-6 不正侵入等の着信元国・地域別上位の攻撃手法別検知比率

4 DoS 攻撃被害の観測結果

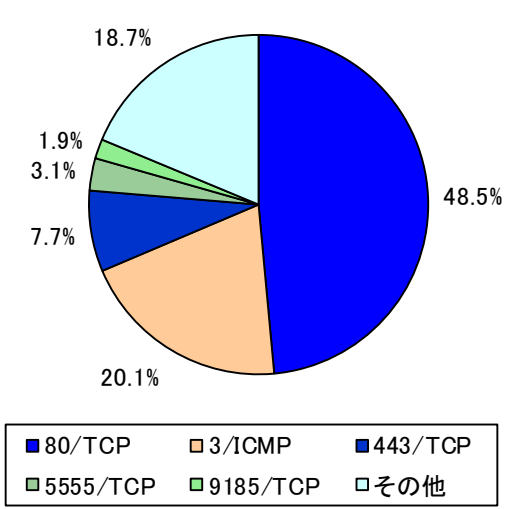


図 4-1 跳ね返りパケット着信元ポート別比率

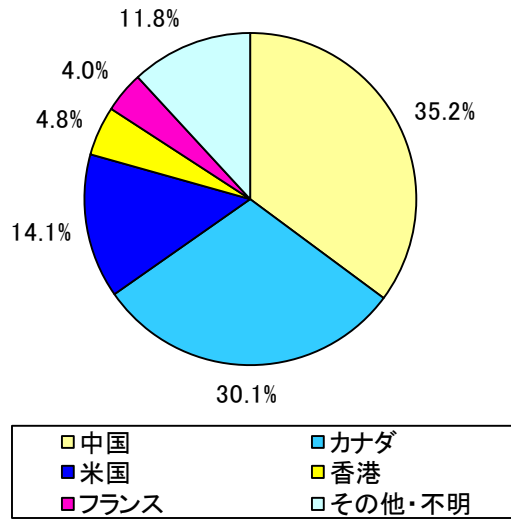


図 4-2 跳ね返りパケット着信元国・地域別比率

5 観測方法等

警察庁では、インターネット接続点に設置したセンサーにおいて検知したアクセス情報等を集約・分析した結果を観測結果として公表しています。その方法については、次のとおりです。

5-1 パケットの表記

TCP 及び UDP はポートごとに集計し、スラッシュの前にポート番号を付けて表しています(例「135/TCP」は TCP の 135 番ポートを表します。)。ICMP パケットについては、タイプごとに集計し、スラッシュの前にタイプ番号を付けて表しています(例「8/ICMP」は ICMP Echo Request を表します。)

5-2 パケットの分類

センサーにおいて検知したパケットの分類は、表 5-1 に示す分類に従って集計しています。DoS 攻撃被害観測では、SYN/ACK 及び RST/ACK パケットに加えて、ICMP Echo Reply (以下「0/ICMP」という。)、ICMP Destination Unreachable (以下「3/ICMP」という。)及び ICMP Time Exceeded (以下「11/ICMP」という。)を集計対象としています。

表 5-1 パケットの分類

章	集計対象	
2 センサーにおけるアクセス 検知の観測結果	センサーにおいて検知 したアクセス	● TCP SYN パケット ● UDP による問い合わせパケット等 ● 8/ICMP
	目的が不明なパケット	● その他
4 DoS 攻撃被害の観測結果	SYN flood 攻撃による 跳ね返りパケット	● TCP SYN/ACK ● TCP RST/ACK
	PING flood 攻撃による 跳ね返りパケット	● 0/ICMP
	各種の flood 攻撃によ る跳ね返りパケット	● 3/ICMP ● 11/ICMP

5-3 不正侵入等の検知

検知された各シグネチャは、表 5-2 に示す分類に従って集約・分析しています。また、各センサーには、攻撃対象となる可能性のあるサーバ等の機器は一切接続していません。

表 5-2 シグネチャによる検知の分類

分類	説明
ICMP	ICMP パケットの検知
INDICATOR-SCAN	インターネット上の各種サービスに対するスキャン活動等の検知
Microsoft Windows Terminal server	Windows ターミナルサービスに対するスキャン活動等の検知
OS-WINDOWS	Windows OS のサービスに対する攻撃の検知
Remote Desktop	リモートデスクトップサービスに対する攻撃の検知
SERVER-WEBAPP	ウェブアプリケーションに対する攻撃の検知
SMBv1	SMBv1 に対するスキャン活動等の検知
SNMP	SNMP に対するスキャン活動等の検知
SSLv3	SSLv3 に対するスキャン活動等の検知
VOIP	VOIP に対するスキャン活動等の検知
Others	上記の分類に含まれないもの